



(星乃莓や)
竹嶋さん

キラキラと輝くような
美味しいイチゴを作ろう！
そんな想いから
始まったイチゴ作り

「小さなイチゴ農家のため量産できませんが、その分イチゴと向き合い、手をかけて栽培すると、手をかけた分だけしっかりと応えてくれます。」と話す「星乃莓や」竹嶋さん。作り手としてはそこがなんとも面白く難しくもありますが、艶やかで美しく甘いイチゴを収穫できた時の喜びには何とも言えない充実感が得られます。



鐘ヶ江さん

日々の創意工夫で
「美味しいー」と
言われるイチゴも

地域のご縁に支えられ、広陵町に移住し、就農された鐘ヶ江さん。「また食べたい」と思われる味を目指し、丹精込めて苗からイチゴを育てています。こだわりは、しっかりと根を張らせて強い株に育てること。真っ赤に色づく一粒に、力強い生命力が宿ります。



絆を育む

健康農業

活動10年の「健康農業」は、多世代が参加する住民農業サークル。遊休地を活用した低農薬の野菜作りに加え、近隣農家の応援も行う地域農業の支え手です。助成金に頼らず自立運営するアットホームな場であり、収穫祭などの交流を通じて地域の絆を深めています。

作って
食べて、
支え合おう。



百済茄子生産者組合

なす栽培が盛んな百済川向地区では、ほ場整備事業を実施したことを契機に6軒の農家が「百済茄子生産者組合」を設立。仲間とともに栽培技術と品質の向上及びその技術の継承に取り組んでいます。令和6年から「土着天敵農法」を導入し、環境に配慮した栽培を実践。町内の学校給食を彩る自慢の味です。



Pick up!

農業塾

広陵町では、新たな農業の担い手を育成するために、平成26年度から「農業塾」を開講しています。塾生は2年半の講座と実習を通して、農作物の栽培や経営に関する知識を身につけ、販売農家としての自立を目指します。

マリーゴールド種まき

あなたのそばに

まちじゅう図書館

まちじゅう図書館とは...

広陵町のいろいろな場所に、“本に親しめる場所”をつくる取り組みです。どなたでも気軽に本を手に取り、本を通して人と人がつながる場になります。町立図書館の本や寄贈・リサイクル本を、各場所のルールに沿ってご利用いただけます。

こんなところに
まちじゅう図書館!



このマークが目印!



いつでも
どこでも
だれでも

蔵書数

316,382冊

(令和7年3月末現在)

広陵町立図書館

図書館は、生涯学習施設として、文化・知識・教養・情報の拠点となっています。すべての方に資料・情報の提供やそれぞれの学びの要求に応えます。

▲広陵町大字三吉396番地1
☎0745-55-4946
🕒9:30 ~ 17:00



広島元号号室内



役場 / 階住民課前



だやし屋3サン堂



トヨタユニテッド奈良
広島店



だやしやにしやん
(森郷 皇森寺 内)



馬見北5丁目集会所



馬見北9丁目集会所



公式式広陵北教室



毎月イベントを
開催しています



イズミヤショッピングセンター
広島店



豊富なイベント

図書館講座や「赤ちゃんから絵本を楽しもう!」、金曜名画劇場などさまざまなイベントが盛りだくさんです。



充実した自習スペース

館内 33 席設置している自習スペース。静かな空間で集中力もアップします。



自然に囲まれた屋外空間

県内市町村の図書館では珍しい、屋外読書スペース。暖かくなった春先などはオススメの読書場所です。

四季のマルシェも人気!
人と趣味がながる場所

Café de からん雅

館内のカフェ「Café de からん雅」は、店主の松浦さんとお客様との会話や、趣味の話題で賑わう場。気軽に立ち寄れるスタンド形式で、自然な交流が生まれています。年4回主催する「みやびマルシェ」は、キッチンカーや多彩な出展者が集まる一大イベントです。



地域にねざした
読書活動の場所を
目指して



利用いただくために 心がけていること

気軽に利用できる雰囲気づくりや利用者への丁寧な対応を心がけています。また、どの地域の方にもご利用いただけるようしくみを構築しています。



日常にとけこむ 町の歴史

広陵町に残された文化遺産は、長い時をかけ、様々な歴史を刻んできました。この長い時の中で生きた人々は、いったいどのような「歴史」を町に残したのでしょうか。

優美に力強く
そびえ立つ

くだらじ さんじゆうのとう 百済寺三重塔

(重要文化財)

▲広陵町大字百済1411番地2

『日本書紀』舒明天皇11年(639年)7月の条に「詔して曰く、今年大宮及大寺を作らむ。百済川の側を似て宮処と為す。」と記載され、聖徳太子が開いた熊凝精舎(くまごりしょうじゃ)を前身とする日本初の官寺「百済大寺」の伝承地です。優美な姿でそびえる三重塔は、三間四方で初層に廻縁を設け、二・三層には高欄を付け、本瓦葺きで彩色が施されています。鎌倉時代の建立と伝えられ、重要文化財に指定されています。町指定文化財の本堂は大織冠(たいしよくかん)と呼ばれ、談山神社の本殿を移築したもので毘沙門天像、十一面観音立像がまつられています。



2mを超える本尊

じゅういちめんかんんのりつどう 十一面観音立像

正楽寺観音堂に安置される本尊。右手に錫杖、左手に水瓶を持つ長谷寺式十一面観音立像です。平成7年に解体修理されました。

制作：平安時代末期
※僧永覚の縁者の祈願により造立
像高：213.2cm
〈特徴〉
ヒノキの寄木造り。肩幅が広く、腕をゆったりと構えた姿は均整がとれ、穏やかな表情が印象的。
(奈良県指定文化財)



しょうらくじ 正楽寺

▲広陵町大字古寺345番地

古寺集落の北方にあり、自治区で守られています。



聖徳太子建立と

伝えられる寺

だいふくじ 大福寺

▲広陵町大字的場80番地

聖徳太子の建立と伝えられる大福寺は、江戸時代には三十石が下付され、徳川家康から家茂までの朱印状が残ります。

じゅういちめんかんんのりつどう 十一面観音立像

左に難陀竜王(なんだりゅうおう)像、右に雨宝童子(うほうどうじ)像を侍立する長谷寺形式の三尊像で、すべてが現存する数少ない遺品のひとつ。

制作：永禄3年(1560年)
※着尾殿の立願により造立
像高：185.3cm
〈特徴〉

奈良の仏師集団、宿院(しゆくいん)仏師の制作で、彩色せず、ヒノキの美しい木肌がそのまま生かされた仏像
(奈良県指定文化財)



室町時代の

由緒ある座像

こうぼうだいしざどう 弘法大師座像

三間四方の四注造椽瓦葺の本堂にまつられる本尊。右手に五鈷杵(ごこしよ)、左手に数珠をもつ座像。

制作：応安6年(1373年)
※僧乗円の本願により大仏師僧行盛が造立
像高：83.6cm
〈特徴〉

奈良市元興寺所蔵の弘法大師像に次ぐ古さ
(奈良県指定文化財)



よらくじ 与楽寺

▲広陵町大字広瀬797番地

じゅういちめんかんんのりつどう 十一面観音立像

弘法大師座像の脇壇に安置された十一面観音立像(鞞仏)の像内から発見されました(胎内仏)。マユミの一木で頂上の仏面から蓮華座まで緻密に彫刻されています。

制作：奈良時代
像高：31cm
〈特徴〉

宝冠が底のように張り出す形は類例がなく、頭上面が三面(上段1・下段2)を1単位として正面及び左右に配列。洗練された目鼻立ちや肉感的表現は盛唐彫刻の感覚を濃厚に伝えます。
(重要文化財)



類例のない

十一面化仏の配置

古代豪族の 栄華を伝える

古墳群

広陵町の西部に広がる馬見古墳群（うまみこふんぐん）は250基以上の古墳からなり、佐紀盾列古墳群（さきたてなみこふんぐん）、オオヤマト古墳群と並び、大和三大古墳群の一つです。4～5世紀、強大な勢力を誇った豪族の栄華を物語る遺産と考えられ、研究が進められています。

馬見古墳群中最大級の規模

おやま 巢山古墳 (特別史跡)

▲広陵町大字三吉元音寺方、元赤部方

馬見丘陵の中央部に位置する大型前方後円墳。墳丘全長220mで、左右のくびれ部に造り出しを設け、周囲には水を湛えた周濠と外堤が巡ります。埋葬施設は後円部中央に竪穴式石室2基、前方部に小石室1基があります。発掘調査で出島状遺構、水鳥形などの形象埴輪、遺体を載せる「喪船」などを発見しました。4世紀末～5世紀初の葛城氏の王墓と考えられています。

巢山古墳で発見された水鳥の形をした埴輪



石室内が
見学できる丸型円墳

ばくや 牧野古墳 (史跡)

▲広陵町馬見北8丁目

丘陵奥部にある直径約48～60mの大型円墳。墳丘は三段築成で、二段目には全長17.1mの大きな横穴式石室が開いています。玄室には奥壁に沿って横向きに割抜式家形石棺（くりぬきしきいえがたせっかん）が置かれていました。副葬品として金環、各種の玉類、馬具二組分、銀装の大刀、400本近い鉄製のやじり、58点の須恵器が発見されています。6世紀末葉の古墳で、舒明天皇の父である押坂彦人大兄皇子（おしさかひこひとのおおえのおうじ）の成相墓（ならいのはか）と考えられています。



墳丘全長45mの
帆立貝形古墳

みつよししづみ 三吉石塚古墳 (奈良県指定史跡)

▲広陵町大字三吉元赤部方

新木山古墳の西に造られた東向きの帆立貝形古墳。墳丘全長45mで、周囲に馬蹄形の周濠と外堤が巡ります。墳丘は二段築成で、墳頂部には円筒、朝顔形埴輪のほか、家、蓋、短甲形埴輪も立てられていました。5世紀後半の築造と考えられています。現在は、古墳の遺構を盛土で保存した上に築造当初の姿を復元整備しています。円筒、朝顔形埴輪は出土遺物の複製品を設置しています。



馬見古墳群
最古の丸型古墳

しんやま 新山古墳 (陵墓参考地)

▲広陵町大字大塚

馬見丘陵の南東端に造られた全長約126mの前方後方墳。築造は4世紀後半で、馬見古墳群中で最も古い大型古墳と考えられています。後方部中央の竪穴式石室から三角縁神獣鏡、直弧文鏡などの銅鏡34面、玉類、金銅製帯金具、車輪石、石釧、椅子形石製品などが出土しました。大塚陵墓参考地として宮内庁が管理しています。



墳丘200mの
前方後円墳

にきやま 新木山古墳 (陵墓参考地)

▲広陵町大字三吉元赤部方

前方部を東に向ける前方後円墳。墳丘全長200mで、両側のくびれ部に造り出しが付き、周濠と外堤が巡ります。築造は5世紀前半、巢山古墳に次いで造られたと考えられています。三吉陵墓参考地として宮内庁書陵部が発掘調査を行い、円筒、朝顔、家、蓋、壺、短甲形埴輪が出土しました。また、副葬品の勾玉、管玉、霰玉も宮内庁に保管されています。

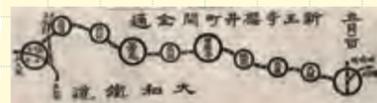


当時は「やまてつ」と呼ばれていました。

旧大和鉄道

近鉄田原本線の歴史

- 明治45年 田原本鉄道(株)設立
- 大正6年 大和鉄道(株)へと社名変更
- 大正7年 大和鉄道開通 (新王寺～田原本間)
- 昭和3年 桜井町まで延伸
- 昭和19年 田原本～桜井町間営業休止
- 昭和39年 近畿日本鉄道(株)に合併



昭和3年頃の路線図



100年の
想いを乗せて



箸尾駅

町内唯一の鉄道駅で、通勤・通学、買い物、通院など日常生活で町外へ移動する際の拠点となっています。大正7年4月26日、新王寺駅～田原本駅(現西田原本駅)間が開通。その後、桜井町駅(現在は廃止)まで延伸されましたが、戦争により一部路線の廃線などを経て、現在の近鉄田原本線の形となりました(左年表参照)。

人と地域をつなぐ まちの交通ネットワーク



生活を豊かにする
コミュニティバス

広陵元気号 中央幹線

近鉄大和高田駅から町の北部・東部を中心に、通勤・通学、買い物、通院など日常生活で町内を含め、町外へ移動手段確保のために運行しているコミュニティバスです。



詳しくはコチラ▶

ちょっとした移動に

のるーと 広陵元気号

町内全域(一部町外: コープなんごう、国保中央病院)に乗降場所があり、買い物、通院などの日常生活の移動手段確保のため、令和5年7月から運行しています。AI予約型乗合バスで、自身の希望する時間、場所に予約をして利用できる便利なコミュニティバスです。



詳しくはコチラ▶

のるーと広陵元気号の使い方

呼ぶ
1



アプリまたは
電話で配車を予約

乗車希望日の5日前から
事前予約が可能
アプリからは24時間予約可能

電話予約受付可能時間

- ① 8:30～16:30(平日のみ)
- ② 0745-55-1005

来る
2



指定された
乗り場で車両を待つ

号車番号を確認

乗る
3



ドライバーに
予約番号を伝え乗車

予約番号は会員登録時
の電話番号下4桁です。

払う
4



乗車時に
運賃を前払い

両替機がないため釣銭
がいらぬようご用意
ください。
QRコード決済やICカード
にも対応しています。
※予約時にクレジットカード
決済を選択すれば前払い
可能(アプリ予約のみ)



のるーと1号車



のるーと2号車



のるーと3号車



※車両は令和8年4月時点のものです。30



奈良交通 路線バス

近鉄五位堂駅から真美ヶ丘エリア、近鉄大和高田駅から町の中西部を通過し、竹取公園まで運行している民間路線バスです。通勤、通学、買い物、通院など日常生活での移動に利用されています。



地域に根ざした
路線バス